

*本メールは、関東更生支援ネットワークにご登録いただいた方々にbccで一斉配信しております。

~~~~~

目次

- 1 「更生アスワ」創刊にあたって
- 2 今月の再犯防止トピックス  
「7月は再犯防止啓発月間です！」
- 3 関東甲信越・静岡地域の再犯防止・更生支援関係機関紹介  
その1「東京矯正管区って何者？」
- 4 更生コラム「アスキザス」Vol.1
- 5 お知らせコーナー

~~~~~

1 「更生アスワ」創刊にあたって

関東更生支援ネットワーク会員の皆様、初めまして。ネットワーク事務局の東京矯正管区です。

本日ここに、会員向けメールマガジン「更生アスワ」記念すべき創刊号をお届けします。

まず皆様は、おそらく「更生アスワ」というタイトルが気になるころなのではないでしょうか。「更生」はともかく、「アスワ」って？

「アスワ」とは、「明日（あす）」と「輪（わ）」をくっつけた造語です。「より良い明日に向かって、みんなで輪を作ろう」という、関東更生支援ネットワークが目指す方向性を表現してみました。それと、「明日こそは！」という、刑務所や少年院を出た人たちが頑張る姿勢みたいなものにもつながるといいな、と思っています。いかがでしょうか？

今、社会全体で、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。コロナは、それまで「当たり前」だった生活様式・習慣を一変させました。外ではマスクを付けるのが当たり前で、ソーシャルディスタンスという言葉が定着し、電車では自然に一つおきに座席が埋まっていきます。家族を除いて、マスクや衝立なしで誰かと面と向かって会話をした日がいつだったか、覚えていますか？

そんな中で、人と人とのつながりが、少しずつ薄れていってしまっているような危機感を感じています。特に罪を犯してしまった人たちは、もともと人とのつながりが希薄であることが多いです。彼らと進んでつながろうとする人は、この社会にあまり多くはいません。

コロナ禍においては、そういう「弱い」つながりから切れていってしまうのではないかと、そしてつながりが切れ、孤独になってしまった彼らは、また再び過ちに向かってしまうのではないかと。

そんな危機感から、コロナ禍でもできること、まずは、彼らを支える人たちの「つながり」を作っていきたい。関東更生支援ネットワークは、そういう思いから、関東地方更生保護委員会と、東京矯正管区と一緒に立ち上げました。

まずはこのメールマガジン配信から、最低月1回を目途にして始めます。そしてコロナが収まった暁には、会員の皆様が集まってつながれるような、セミナーやスタディツアーも企画していきたいと思えます。

今後とも末長く、会員の皆様との「つながり」を大切にしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

~~~~~  
2 今月の再犯防止トピックス「7月は再犯防止啓発月間です！」

世の中には色々な「啓発月間」がありますよね。インターネットで検索すると、「いじめ防止啓発月間」「外国人労働者問題啓発月間」「食育月間」などなど、実に多種多様な啓発月間があり、それに合わせたイベントも各地で開かれています。

そして今月、7月は「再犯防止啓発月間」なのです。もともと、「社会を明るくする運動」の強調月間として知られていたのですが、2016年12月に成立した「再犯防止等の推進に関する法律」で、新たにそう定められました。ご存知でしたか？

法務省においても、社会を明るくする運動の各種イベントのほか、色々な取り組みをしています。コロナ禍ですので、街頭などでの対面型活動が制限されている中、工夫をして広報啓発に取り組んでいますので、今回はその一部をご紹介します。

\*

東京矯正管区では、昨年度から、30秒くらいのCM動画を作って、地方自治体などと連携して放映をしています。昨年度はさいたま新都心駅の大型ビジョンで放映していただきましたが、本年度はさらにその対象を拡大し、以下の場所で放映してもらう予定です！

○埼玉県さいたま新都心駅 大型ビジョン

○埼玉県越谷市 越谷ツインシティA棟正面オーロラビジョン

○東京都新橋駅前 ニュー新橋ビル大型ビジョン

お近くにお寄りの際は、ぜひ少し足を止めていただいて、広報動画を見てみてください！会員の皆様からのご意見、ご感想もお待ちしております！

\*

○7月1日～7月14日

山梨県立図書館において、「社会を明るくする運動」強化月間及び「再犯防止啓発月間」に合わせ、再犯防止や犯罪者の更生に関連する図書及び啓発用資料の展示がなされました。

本展示は山梨県県民安全協働課との連携事業です。

詳しくは山梨県立図書館HP (<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/oshirase/2021/07/post-255.html>) をご覧ください。

\*

○「社会を明るくする運動」に係る東京都内の広報活動について、以下のとおりお知らせいたします。

今年は「#生きづらさを、生きていく。」をテーマとした、ショートアニメーションやラジオCMが流れる予定です。

【15秒のショートアニメーション】

・7月5日～7月11日 都営地下鉄（浅草線・大江戸線・新宿線）車内広報

【30秒のショートアニメーション】

・7月1日～7月31日

東京都民安全推進本部YouTube及び東京都公式動画チャンネル「東京動画」

・7月9日～ 東京都庁広報課Twitter【#都政ニュース】

また、ショートアニメーション以外にも、以下のとおり「社会を明るくする運動」に関する記事の掲載や紹介がなされます。

○『広報 東京都』7月号（紙媒体・ウェブ版）

○7月2日 8：47～8：52 TBSラジオ「金曜ボイスログ」内「都民ニュース」

~~~~~

3 関東甲信越・静岡地域の再犯防止・更生支援関係機関紹介 その1

「東京矯正管区って何者？」

このメルマガを配信している関東更生支援ネットワーク事務局は、「法務省東京矯正管区更生支援企画課」が担っています。そんな「東京矯正管区」、皆様ご存じでしょうか？

東京って言うくらいだから東京にある？

いえいえ、実は埼玉県にあります。さいたま新都心にある合同庁舎2号館13階、そこに100名弱の職員が勤務し、関東甲信越・静岡地域に所在する刑務所や少年院、少年鑑別所などの矯正施設、その数実に70庁ほどの適切な運営の管理に日夜励んでいます。

「コレワーク」という組織、聞いたことはあるでしょうか。民間事業者の皆様と、罪を犯して塀の中にいる人たちとのマッチングを支援する機関ですが、このうち「コレワーク関東」も実は東京矯正管区の一員です。

そしてこのメルマガを配信している「更生支援企画課」は、矯正と地方公共団体、民間の皆様をつなぐ橋渡しをすべく、2018年から活動を開始した、比較的若い組織になります。

というわけで、東京矯正管区とは、関東甲信越・静岡地域の矯正施設を束ねる中間管理職的立場でありつつ、コレワークや更生支援企画課などの広報的な活動を行う対外的な顔も持っています。かつてヤクルトスワローズで選手兼監督として活躍した古田敦也みたいなものでしょうか（知らない方は申し訳ありません）。

そんな東京矯正管区のこと、もっと知りたいという方は、ぜひ下記のリンクをクリックして、ホームページもチェックしてみてください。関東更生支援ネットワークのホームページも近日公開予定ですし、更生支援企画課の広報紙「更生刻々」は特にオススメです！

http://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei08_00101.html

~~~~~

### 4 更生コラム「アスキザス」Vol.1

山際淳司さんの「江夏の21球」と、沢木耕太郎さんの「一瞬の夏」は、スポーツノンフィクションの基点を告げた2作である。1球をめくり極限まで張りつめた心理の綾。研ぎすました拳と肉体で頂点に向かう圧倒的な意志。明暗が瞬時に置き換わる闘いを、事実の重さで鮮烈に伝えた。読者を引き込む物語の名手、三浦しをんさんにスポーツ小説『風が強く吹いている』がある。三浦しをんさんは、親しみやすいエンターテインメント性のなかに、普遍的なメッセージを、それが自然にそこにあるように忍ばせる。

長距離走では、よく爽やかに「風になって走れ」というフレーズが使われる。三浦しをん流では「風を感じて走れ」である。これは読者に投げかけた言葉でもある。

× × ×

「長距離選手に対する、一番の褒め言葉が何かわかるか」

「速い、ですか？」

「いいや。『強い』だよ」

× × ×

速く、ではなく、強く。これが題名の『風が強く吹いている』につながっている。長い距離は、やみくもな速さだけでは闘い抜くことはできない。天候、コースの状態、自分の体調、こころの動き。この集合の要素の変数を冷静に分析し、身体を前へ前へ運び続ける。三浦しをん流の走りは、ここから次元が違う領域に駆け出す。

新たな領域での展開は矯正の世界にもある。明治以来の監獄法が平成18年に改正されて刑事収容施設法となり、再犯防止推進法もできた。これまでの懲罰主義よりも社会復帰へのアプローチが重視されるようになった。更生支援は一気に厚みを増してきた。今は更生支援史におけるルネッサンス期といえそうだ。

厚生労働省と協働して、刑務所出所者等の採用手続きの支援を行うために、コレワークを設けマッチングを進めている。

農林水産省や厚生労働省と協力して、農福連携の取り組みを犯罪や非行をした人たちの立ち直りの分野にも広げつつある。

国土交通省や厚生労働省と協調して、刑務所出所者等を含めた住宅確保要配慮者に対する居住支援の強化を図っている。

文部科学省と連携した矯正施設における高卒認定試験の実施など修学支援の取り組みもある。

駅伝は、区間区間の走りではまったくの個人競技だが、リレーされることでチーム競技となる。駅伝はそのまま「ekiden」で海外でも通じる。力を合わせることを、協力することが、走ることに物語をもたらす。「協力」を表す英語には、cooperation と collaboration がある。cooperation は片方が必要としていることを、もう片方が協力して補うニュアンスがある。collaboration は A と B が手を組んでそれぞれの良さをさらに引き出す、新たなものを生み出すという意味を持つ。プラスαのイメージなのである。

三浦しをん流の駅伝は、おそらく collaboration だろう。更生支援の新たな取組も、きっと collaboration だろう。創造性あふれる更生支援史が生まれ続ける。

~~~~~

5 お知らせコーナー

このコーナーでは、会員の皆様にお知らせしたい情報を掲載していきます。

皆様からも、「今度〇〇市で再犯防止に関する勉強会をやるのでお知らせしたい!」とか「〇〇センターで研修をやるので募集したい!」などのご要望があれば、事務局にお寄せいただければ、掲載について検討・調整させていただきますので、どしどしご連絡ください。

今回は、事務局から「住まい支援」のイベントについてご案内させていただきます。

*

人が生きる上で大事なものは何でしょうか。家族?友人?お金?仕事?

いろいろあると思いますが、何と言っても、雨風がしのげ、プライバシーが確保できる「住まい」は欠かせない要素ではないでしょうか。

刑務所などを出た人の中には、「住まい」を確保することが難しい人がいます。お金がないこともあります。家族などからも見放され、身元保証人がいないことでアパートなどが借りられず、いわゆるホームレスになってしまう人もいます。

そんな「住まい」の確保に配慮が必要な人達に対する支援を、「居住支援」と言います。これまで主として高齢者や障害者などに対して行われてきた支援ですが、出所者たちにも居住支援が必要です。

そこで、この度、関東地方整備局、関東信越厚生局と関東地方更生保護委員会・東京矯正管区の省庁横断連携により、8月4日、この居住支援をテーマとしたセミナーを実施することになりました。

当日は居住支援についての総論的説明に加え、刑務所を出た人たちの居住支援を実施されている居住支援法人の代表の方にご登壇いただき、パネルディスカッションも実施します。

オンライン開催で、参加は無料となっています。7月28日(水)が申込締切となっていますので、ご興味がある方はぜひコチラ (<https://www2.ktr.mlit.go.jp/cgi-bin/form.cgi?form.template=kensei-seminar16.html>) からお申込みください。

~~~~~

最後まで読んでいただきありがとうございました。

本メールマガジンの配信を止めたい方は、事務局（下記連絡先）まで、件名に「アスワ配信停止」と記載したメールを送信してください。本文の記載は不要です。

関東更生支援ネットワーク事務局 東京矯正管区更生支援企画課  
Mail : [1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp](mailto:1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp)

会員の皆様からのご意見・ご感想もお待ちしております！

~~~~~